

質問者 高野 博

質問事項	質問の要旨
1 女川原発の放射能管理問題と原発行政について	<p>田中規制委員長は「規制基準に適合しているか審査したのであって、安全だと申し上げているわけではない」と明言。まったく無責任です。</p> <p>また、アレバ製の汚染水処理措置は役に立たず、廃棄処分されると報道されました。さらに凍土壁が機能するか改めて問われています。加えて、福島第一原発3号機がこれまでの発表より5時間以上も前に炉心溶融が始まり、燃料棒すべてが格納容器に落ちていったのではないかとの見解が東京電力より示されました。本格的な原因究明が求められています。</p> <p>今回は、女川原発の放射能管理について実態と行政の対応について伺います。</p> <p>(1) 女川原発の使用済み燃料の現況と今後の見通しについて伺います。</p> <p>(2) 低レベル放射性物質の保管と見通しについて。</p> <p>(3) 福島の事故を教訓に、東北電力のトリチウムの取り扱いと、地下水の調査結果を示されたい。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 高野 博

質問事項	質問の要旨
<p>2 すべての町民が参加できる復興事業に</p>	<p>間もなく発災から3年半になります。被災者にとっては長い年月です。住居を完成させ、また終の棲家にたどり着くまで、まだ数年かかる人もおられるでしょう。そこですべての町民を対象にしたコミュニティを大切にしたい町づくりを基本に、復興事業に転換してほしいと思います。</p> <p>(1) 地区ごとにその地区に住みたいと希望する人たちで、集まり、専門家とボランティアのご協力を得て、どんな街をつくるのか、どんな集いを開くか、どんなことにみんなで協力すればいいのか、街づくり協議会をつくって話し合う場を確保すべきだと思います。いかがですか。</p> <p>(2) 商店街形成についても、店を開きたいという人たちみんなで、どんな商店街にしたいのか、どうすれば交流人口が増えるのか、町づくりに商店街がどんな役割を果たすのかなど、専門家の力も借り、みんなで議論できる場を急いでつくるべきだと思います。</p> <p>(3) 漁業、水産業、林業、観光業なども、地域循環型で、若者が仕事に携わる魅力あるものに、未来志向で、所得も確保し、生きがいを持てる</p>

質問者 高野 博

質問事項	質問の要旨
	よう、専門家とボランティアの力も結集すべき
	です。
	(質問の相手：町長・担当課長)